

伝統的歩行者空間(こみせ)維持のための利用方策の実践及びその波及効果検証

<調査概要>

■調査実施地域:青森県黒石市

■調査実施者:黒石市

- ・「こみせ」と呼ばれる庇状の屋根を持った歩行者通路の連続性が途切れている箇所において、空地を活用するためのファサードとしてこみせを試験的に設置し、その外観評価と歩行者の動線確保につながる波及効果について検証する調査を地域住民や来訪者へのアンケート・ヒアリング等を通じて実施した。
- ・この検証の結果、試験的に設置したこみせ(仮設こみせ)の一定の外観評価は得られたものの、地域住民にこみせ再生を促すにはなんらかの動機づけが必要であること、こみせの再生だけでは歩行者の動線確保につながる波及効果を生みだせないことがわかり、にぎわい創出等の取り組みと連携することが重要であるとわかった。



■仮設のこみせ設置前の空き地



■空き地に設置された仮設のこみせ

<調査内容>

■空地活用につながる仮設こみせ設置

・H25年度コンペの優秀5作品から採用



■設計のポイント

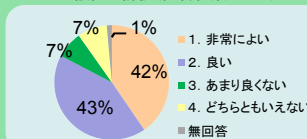
- 平面計画
 - ・仮設こみせは、通りに面してのみ設置。
 - ・自動車の出入口の機能を確保。
- 形態・意匠計画
 - ・伝統的様式を継承し、柱の間隔は1間
 - ・柱の構造を鉄骨造とし、一部に木を巻き付け。
- その他
 - ・正面に花飾りを設け、こみせ内にベンチを2つ設置。

■アンケート・ヒアリングの実施

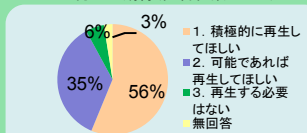


- ・こみせ設置の評価は高い(85%)
- ・こみせ再生の期待は大きい(91%)

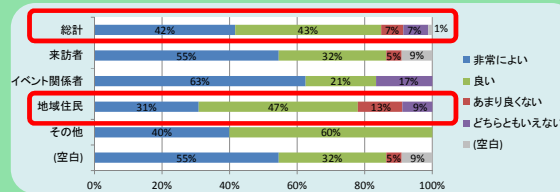
■こみせ設置の評価(回答総数336人)



■こみせ再生の期待(回答総数336人)



■こみせ設置の評価(クロス集計)



- ・地域におけるこみせ設置の評価は、全体よりやや低い
- ・仮設こみせだけではメリットが少ない、こみせを再生するだけでは、活性化につながらない等の意見もある

■波及効果の検証と社会実験

- ・歩行者量の変化なし
- ・ベンチ等の高い評価
- ・仮設こみせの多面的な利用促進とにぎわい創出
- ・こみせをつなげる社会実験(蔀と照明の設置等)



■にぎわい創出の社会実験

■今後の課題と展望

【ソフト面】

- ・仮設こみせ等の活用によるにぎわい創出
- ・まち歩きツアー



■まち歩きツアー実施

【ハード面】

- ・こみせ再生モデルや楽しく歩ける環境づくり(駐車場、回遊ルート)



■こみせ再生モデルの検討

連携